



さんいちだより

荒川区立第三日暮里小学校

発行日 令和3年9月1日

発行者 校長 末永 寿宣

9月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

三日小の「学びを止めない」挑戦

～新型コロナウイルス感染症を予防しながら、子どもたちのために最善を尽くします～

校長 末永 寿宣

7月31日付第123号の「荒川区保護司会だより」区長挨拶に次のくだりがありました。

これまで当たり前に過ごしてきた日常が大きく制約される状況の中で、大切な人たちと直接会えない時間が長いからこそ、私たちは、「人は人によって支え、支えられて生きている」ということ、「そっと寄り添うことの大切さ」等を改めて認識したのではないかと思います。

学校は、本日、新学期を迎えました。子どもたちは1学期と同様に元気にスタートしました。未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、制約される中、マスクを付けて健気に生活している子どもたちの姿に勇気づけられています。人として「支えられて生きている」ことを実感しています。

「学校の新しい生活」と言われて久しいですが、子どもたちの笑顔を見るために、教育活動を工夫し、「三日小の特色ある教育活動」を実践してまいります。

以下7月に活動した内容を振り返ります。



詳しくは、
三日小 HP へ

○7月1日「読書月間」



▲読書月間が終了し、5年生が今まで読んだ本の中で、一番に推薦したい本を紹介しました。後輩が足を止め、よく見えています。

○7月2日「社会科見学」



▲リサイクルセンターを見学し、スケルトンのゴミ収集車の仕組みを学びました。複数の安全装置がついていることも知りました。

○7月3日「引き渡し訓練」



▲災害時における引き取り訓練が行われました。引き渡しのルートの課題については、次回に改善いたします。

○7月6日「バレエ体験教室」



▲谷桃子バレエ団文化芸術体験教室がおこなわれました。「バーレッスン」では、バーの代わりにパイプ椅子を活用し、基本の姿勢を体験しました。

○7月7日「タブレット初体験」



▲一人一台専用のタブレットを使って、自分のIDでログインする練習をしています。パスワードがどうして大切なのか、情報モラルも一緒に学んでいます。

○7月9日「授業研究会」



▲自分の考えを発表し合い、作品がどのような話だったか、複数の作品を読んで、作家に対してどのような印象をもったかなど、しっかり自分の考えを論理的に説明できました。

○7月10日「すべての教室へ新聞を」



▲「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるような取り組みが始まりました。

○7月13日「夕焼け小焼けの塔取材」



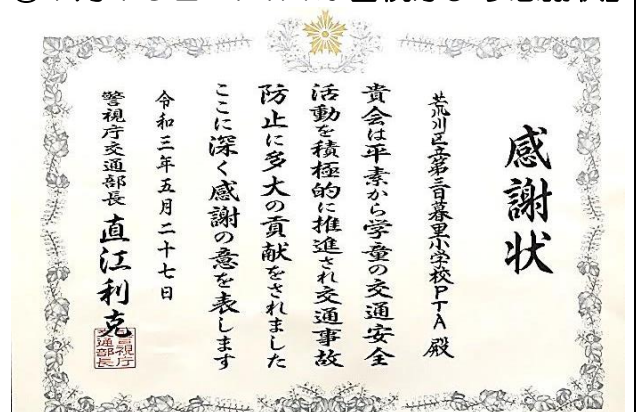
▲三日小の敷地内にある「夕焼け小焼けの塔」があらかわケーブルテレビの取材を受けました。スマートフォンアプリ「あらかわさんぽ」に登場するそうです。

○7月15日「あらかわ区報 Jr 掲載」



▲「こども宇宙プロジェクト2021」に参加しました。12月上旬にロケットで子どもたちの写真とメッセージが宇宙旅行に旅立ちます。

○7月19日「PTAが警視庁より感謝状」



▲PTAの長年の交通安全活動が評価され、警視庁交通部長より感謝状が届きました。全校朝会にて、紹介させていただきました。全校児童が見守る中、大きな拍手でお祝いしました。

1学期、7月の主な取り組みをご紹介しました。「学校の新しい生活」を安全に、より充実させるため、新型コロナウイルス感染症を予防しながら、「学びを止めない」ために最善を尽くします。今後とも、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。